



平成27年度のスタートにあたって 研究開発の強化、 設備・機器の最新化で 企業ニーズに応える

理事長 片岡 正俊

昨年度を振り返って

平成26年度は、都産技研の設備と技術シーズを大変多くの中小企業にご利用いただきました。依頼試験は前年度並みの約15万件ですが、機器利用が10%増の約13万件となりました。ものづくりを行う中小企業の仕事は増えていると感じていますが、円安で好調の大企業と比べると、中小企業は原材料高などで利益まで結びついていない状況です。こうした中小企業の皆さまを取り巻く厳しい環境を踏まえ、都産技研では平成26年4月、本部に「ロボット開発セクター」を、12月には城南支所に「先端計測加工ラボ」を新設し、機器や試験の高度化を進め、シーズとなる研究テーマを増強して対応しました。また、9月に開催したINNOVESTA!2014(施設公開)には、過去最高の約2千名のお客さまにご来場いただき、最新のロボット技術や3Dものづくり技術などを体感していただきましたこと、御礼申し上げます。

今年度目指すこと

第二期中期計画(平成23~27年度)では、自前の製品、技術を市場に展開する「開発型中小企業支援」を重点目標に置き、共同研究やオーダーメイド試験などの事業を通じて「世界に勝てるものづくり」支援に注力してきました。

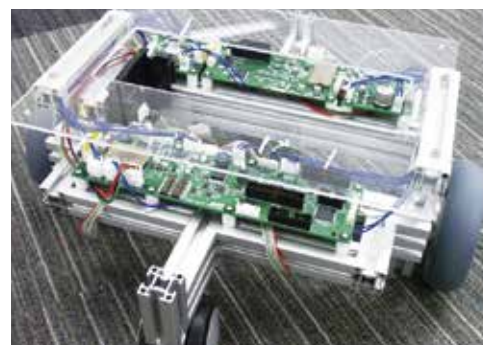
平成27年度は第二期中期計画の最終年にあたりますので、第二期の目玉として本部に設置した「高度分析開発セクター」、「システムデザインセクター」、「実証試験セク

ター」の成果展開をしっかりと図ります。さらに、研究開発分野においては、第二期の重点分野である「環境・省エネルギー」「EMC・半導体」「メカトロニクス」「バイオ応用」の4分野の成果展開を進めます。

また、平成27年度の目玉事業として、ロボット開発セクターの強化、金属AM(3Dプリンター)の導入、バンコク支所の開設等を進めてまいりますので、その概要をご紹介します。

ロボット開発セクターの強化

ロボット開発セクターでは、移動ロボットの基盤である「T型ロボットベース」を開発し、「案内ロボット」や「おもてなしロボット」などの中小企業のロボット開発に貢献してまいりました。こうした成果を拡大して、平成32年(2020年)開催の東京オリンピック・パラリンピックで活用することを計画しています。例えば、選手村や競技会場内で情報を提供する「案内ロボット」などが実現すれば、東京の産業技術を世界にPRできると思います。



T型ロボットベース

よくいわれるように、産業にとってオリンピックは通過点であり、その後の発展が重要です。ロボット産業をより発展させるべく、都産技研はロボット開発セクターを中心にロボット産業活性化事業を推進します。研究員を増員するほか、安全性評価を行う設備を強化し、中小企業のロボット開発支援体制をさらに充実させてまいります。



金属AM(3Dプリンター)の導入

本年7月からは、金属AM(3Dプリンター)の利用が可能になります。これは、ステンレスなどの微細な金属粉末を水平に敷いてレーザーを照射し、層を重ねて焼結することで立体成形する機器です。この機器の導入により、例えば複雑な構造の機械部品で金型の制約により従来つくることができなかった部品も、データから直接試作することができるようになります。皆さまには「今までできなかったものづくり」に挑戦していただきたいと思っています。



金属AM(3Dプリンター)
©3D Systems Corporation

先端計測加工ラボの活用

昨年12月に開設した城南支所の先端計測加工ラボも積極的にご活用いただきたいと思います。ここには医工連携産業支援・航空機産業支援をテーマに、最新機器24機種を取り揃えました。既存の光造形装置や三次元レーザー加工機に加え、新たに溶融積層造形装置等を配備し、航空機等に多く用いられる自由曲面を持った部品を金型を使わずに造形可能とするなど、試作品の製作支援をより充実させています。

また、高精度のX線CT装置を使えば、破壊せずに内部の寸法測定等も可能となっています。現在、技術セミナー等を通じて先端計測加工ラボでできることをご紹介します。皆さまのご利用をお待ちしています。

バンコク支所開設の狙い

「広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)」による製品輸出の技術支援に加えて、海外に進出した中小企業の「現地支援」に取り組むため、今月バンコク支所を新設いたします。

当支所に機器等は配備できませんが、3名の職員が常駐し、日本国内の研究員とも連携して日系中小企業の技術相談(無料)、現地工場での技術指導、現地での技術セミナーなどを行います。

技術相談において、より専門性の高い課題については都産技研本部とのテレビ会議によって解決を図り、現地で解決できない問題については国内に持ち帰って検討するなど、機動性の高い体制で対応してまいります。



都産技研バンコク支所(タイ工業省ビル3階)

このように、都産技研では、引き続き研究開発の強化に努め、設備・機器等の最新化を図って中小企業の皆さまのニーズに応えていきます。「世界に勝てるものづくり」を行うために、都産技研の本部、多摩テクノプラザ、城東支所、墨田支所・生活技術開発セクター、城南支所・先端計測加工ラボ、そしてバンコク支所をぜひご活用いただきますようお願い申し上げます。